

# ネットワーク遅延の影響を抑えるためフェッチオーディオ機能を設定する

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[症状](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、ネットワーク遅延の影響を抑えるために音声フェッチ機能を設定する方法について説明します。この設定によって、Cisco Unified Customer Voice Portal ( CVP ) と VoiceXML ( VXML ) ゲートウェイの間のラウンドトリップでの遅延は 200 ms よりもはるかに短くなるはずですが、

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CVP Server
- VXML ゲートウェイ
- Cisco Unified Intelligent Contact Management ( ICM ) および Cisco Unified Contact Center Enterprise ( UCCE ) の導入

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP Server
- VXML ゲートウェイ
- UCCE

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

# 背景説明

遅延の値が 200 ms にせまる、またはこれを超えると、CVP および Cisco Unified Interactive Voice Response ( IVR ) のパフォーマンスが深刻に低下します。

## 症状

- コールがドロップされる
- VXML アプリケーションの音声再生されない
- Microapp は正常に動作するが、VXML アプリケーション ( Helloworld アプリケーションなど ) では音声が出ない、あるいは 5 秒以上遅延する

CVP 8 ソリューション リファレンス ネットワーク デザイン ( CVP 8 Solution Network Reference Design ) ( SRND ) ドキュメントのネットワーク遅延のセクションで、音声遅延の影響だけでなく、VXML サーバと VXML ゲートウェイの間のネットワーク遅延が原因で VXML アプリケーションが無音になる影響を抑えるための回避策について説明しています。

フェッチ可聴周波機能を設定することは IVR サブシステム レベルと Expanded Call Context ( ECC ) 可変レベルで SRND 資料が詳細の設定も取り扱っていない警告も述べなかったと同時に実行されたことができます。

## 設定

IVR.FetchAudioDelay および IVR.FetchAudioMinimum という IVR サブシステム設定が追加されました。これらは、WAN リンクを介した音声フェッチで遅延が発生した場合のルート ドキュメントのための WAN 遅延設定です。

これらの設定は、CVP 設定ファイルのいずれかで実行する必要があります。

C:\Cisco\CVP\confivr.properties

### 1. IVR.FetchAudioDelay=2

これは fetchaudio メディア演劇の前にフェッチ遅延のはじめに、待つ時間いっぱい ( 秒で ) です。

この設定は fetchaudio の値が空ではない場合実施されます。

デフォルト値は 2 秒です。正常なネットワークシナリオで聞かれるブリップ音を避けることを使用します ( 遅延なしで ) 。

この値をゼロに設定した場合は、fetchaudio メディアがすぐに 5 秒間以上再生されます。

値 : 1 ~ 9

### 2. IVR.FetchAudioMinimum=5

これは、fetchaudio で指定した音声を再生する最小時間です。その間に、要求したリソースが届いた場合でも再生は続けられます。

この設定は実施されます IF 値 offetchaudio によって空ではない。

デフォルト : 5 秒

値 : 1 ~ 9

3. IVR.fetchaudio=flash: holdmusic.wav

これが、fetchaudio の場所を指定する変数です。holdmusic.wav は VXMLgateway のフラッシュにロードする必要があります。

値フラッシュのまわりに引用符を置かないで下さい: IVR サブシステムがなので holdmusic.wav は、たとえば引用の別の層を追加しました; flash: holdmusic.wav が引用符で囲まれます ( バグ [CSCub05699](#) を参照 ) 。

IVR.FetchAudio=flash: holdmusic.wav

[ivr.properties] ファイルを保存し、OAMP コンソールのデバイス コントローラからコールサーバを再起動します。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。